

金箔

張るとどんな音？

カスタネット

京仏具の技法を生かして内側に金箔を張ったカスタネット



京仏具の老舗支援 児童体験学習へ

子供たちに京仏具の伝統技法「金箔押し」を体験してもらおうと、京仏具の老舗メーカーが今春から、京都市山科区にある工房に近接する百々小の総合学習を支援する。子供たちにとって身近なカスタネットの内側に金箔を張る実習で、出来上がった「金箔カスタネット」の一部はカンボジアの小学校に寄贈する計画だ。

山科・百々小 一部カンボジアに

支援するのは京仏具製造会社の「小堀」（下京区）。これまで自社の工房で、観光客や修学旅行生らを対象に有料の金箔押し体験教室を開いてきた。今回はオフィス用品販売会社の「カスタネット」（南区）からカスタネットの提供を受け、無償で小学生たちに体験学習をしよう。

小堀の小堀進専務は「京都の伝統技術を体験してほしい」と言い、百々小の林政広校長も「体験学習を、京仏具の歴史やカンボジアについて学ぶ機会に」と話している。

ける。今春、六年生になる百々小の児童約百人が総合学習の時間に工房を訪れて挑戦する。

カスタネット社は、中古文房具を回収してカンボジアに届ける活動を進めており、児童たちは金箔を張ったカスタネットを余分に作って、カンボジアの小学校へ贈ることになっている。